

陸路と海路の整備による 物流機能の拡大・強化と津波避難対策！



重要港湾 宮崎港

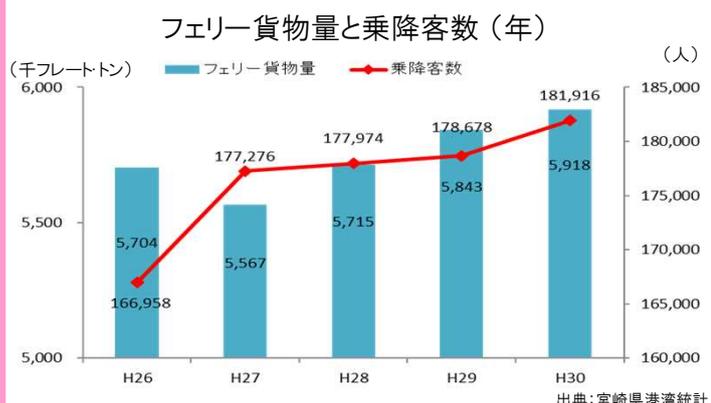
フェリーの利用状況



利用拡大に向けて

- 2022年に、カーフェリー大型化
→ トラック積載台数の増加で、
ドライバーの負担軽減
- 都市圏に向け、安価で大量輸送が可能
- 個室増加(29室から220室に)で、
多様な旅客ニーズに対応
- サイドスロープ(車輛乗船用可動橋)設置により、
荷役時間短縮(2時間50分から1時間40分に)

陸路と海路の整備により
貨物やフェリー乗降客数の
増加が期待される
フェリーの大型化との相乗効果も見込まれる



一ツ葉地区 津波避難高台完成



- 県内最大規模の避難施設で、
3,280人の収容が可能
- 既設の避難高台とあわせて
約5,000人の避難者が受入可能に！